

## 世界家電市場概要

2012年11月

何なりとお気軽にお問い合わせくださいませ。

Simon Bryant: TEL +44 1582 500152  
simon.bryant@futuresource-hq.com

(日本語)

Yumi Dew: TEL +44 1582 500120  
yumi.dew@futuresource-hq.com

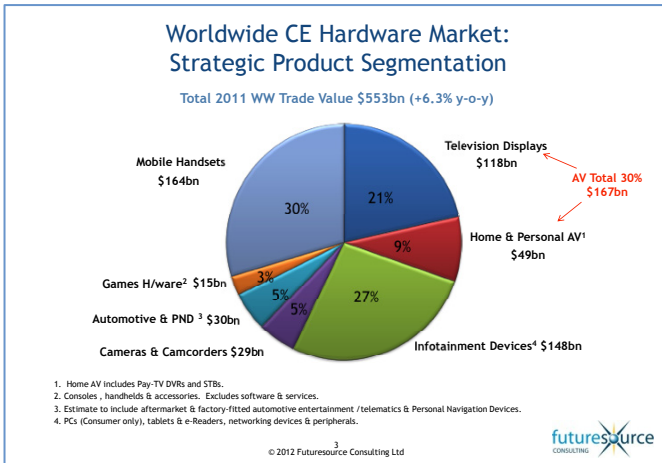
序論

2011 年の世界家電市場は、2 大市場である欧州・北米の不景気に加え、タイの洪水による影響や日本の震災での後遺症に悩まされながらも、6.3%の伸びを示し、出荷総額は 5,530 億 US ドルに達した。

世界家電市場の伸びは、地域別では新興国市場、製品別ではスマートフォンやタブレット PC といった携帯インフォテインメントデバイスに集中している。

に支えられこのトレンドに逆らっている。強いインターネット需要に加え、モバイルアプリケーション、ゲーム、電子書籍などのデジタルコンテンツ需要の伸びもポータブル デバイス人気に拍車を掛けると思われる。

2011 年のスマートフォン出荷台数は 4 億 7,800 万台強。2012 年には 44%の成長率が見込まれており 6 億 8,900 万台に達する予測である。2011 年に 6,340 万台であったタブレット PC 出荷台数は、2012 年に 1 億 2,370 万台に伸びると予測される。



テレビは、依然、家電製品販売総額の約 4 分の 1 のシェアを占めてはいるものの、2011 年の世界販売総数は横ばいに終わった。西欧・北米では市場の飽和化が進んでおり、日本では販売台数を急増させたエコポイント制度が 2011 年に終了し地デジへの切り替えが完了したことから需要が半減し、新興国市場での伸びが相殺される結果となった。薄型テレビの一世帯所有台数が平均 3 台程度で約 200%の普及率である英国・米国に対し、膨大な人口の中国における世帯普及率は 40%、ブラジルでは 50%にとどまっている。この現状を鑑みれば、テレビ市場の今後は明るいと言えよう。新興国市場では、手取り所得が伸び、チャンネル/配信数の増加、配信規制の見直し、娯楽コンテンツ充実などのインフラ整備が進むことから、更なる経済成長が見込まれており、他の家電製品同様テレビもその恩恵に授かると思われる。

世界家電市場：製品分類シェア（白物家電除く）

2011 年世界出荷総額：5,530 億ドル（対前年比：+6.3%）

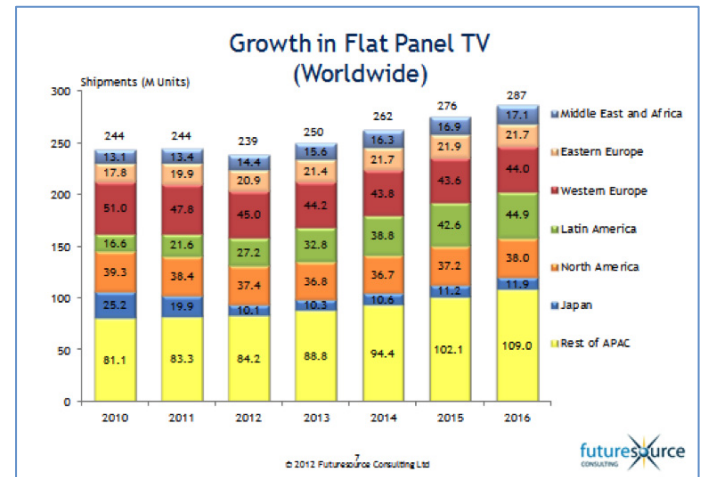
- 携帯電話：1,640 億ドル 30%
- AV 機器計：1,670 億ドル 30% [テレビ：1,180 億ドル 21%
- ホーム&パーソナル AV (1)：490 億ドル 9%
- インフォテインメントデバイス(4)：1,480 億ドル 27%
- カメラ & カムコーダー：290 億ドル 5%
- 車載機器&PND (3)：300 億ドル 5%
- ゲーム機器(2)：150 億ドル 3%

- ホーム AV には有料 TV・DVR (デジタルビデオレコーダー) 及び STB (セットトップボックス) を含む
- 家庭用&携帯用ゲーム機及び付属機器 (ゲームソフト&サービスは除く)
- 推定値は別売 及び 出荷時搭載エンターテインメント/テレマティクス & パーソナルナビゲーションデバイスを含む
- パソコン (個人用のみ)、タブレット、電子書籍リーダー、ネットワークデバイス、周辺機器

注目の成長分野はインフォテインメントデバイス

スマートフォンやタブレット PC 市場の伸びは、携帯ゲーム機、MP3、カメラ、カムコーダー、パーソナルナビゲーションなど専用デバイスの需要に打撃を与えており、2011 年度のこれら 5 分野合計での売り上げは 13% 落ち込んだ。

多機能インフォテインメント デバイスが専用デバイスを圧倒しているポータブル デバイス市場であるが、電子書籍リーダーに限っては、低価格と電子書籍の人気



薄型テレビ世界出荷台数推移 (100 万台) 上から...

- 中東及びアフリカ
- 東欧
- 西欧
- ラテンアメリカ
- 北米
- 日本
- 日本以外のアジア太平洋地域

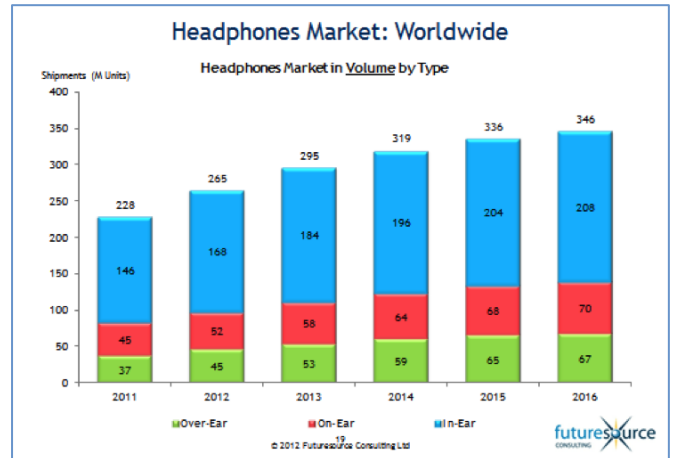
成熟市場では、今後2年～4年の間で、インターネット・3D機能搭載機種への買い替え需要で売上げが伸びると予測される。これらの機能は未だ十二分に楽しまれておらず、特に3D機能に関してはコンテンツ不足と専用メガネ着用が障害となっている。

デジタルコンテンツ及びインターネット接続デバイスへの移行は、DVD/BDプレーヤーの需要に影響を及ぼしている。ディスク再生機能は当面必要であることから、ここ数年はそれなりの市場規模を保つであろう。しかしながら、長期的には、ビデオオンデマンド、有料ダウンロード、ブロードバンド回線（Over-the-Top）、キャッチアップTVサービスへの切り替えへと向かう。このためDVD/BD機器の世界総出荷額は、2016年までに50%強減少すると思われる。

日本以外の国においては、テレビ番組の録画にディスクが使われているケースは稀で、ハードディスクドライブが好まれている。このため、売上げを伸ばしているのは、パーソナル（デジタル）ビデオレコーダーで、90%は有料TVオペレーター経由での販売であるが、小売販売でも一定の伸びが見られる。

ホームオーディオ分野は、デジタルスピーカー、無線接続デバイス、サウンドバーの伸びに支えられているが、本格HiFiシステムの需要は低迷しておりハイエンド市場は苦戦している。昨今ではスマートフォンの普及でiPod文化（パーソナル&ポータブルジュークボックス）が更なる広がりを見せている。これによって、充電やスピーカー接続のためのドッキングシステムの需要が生まれており、とりわけ無線接続への関心が高まっている。PCとの接続、またSpotifyやiTunesといった音楽ストリーミングサービスへのアクセスもこの市場の伸びに一役買っている。

このトレンドは、ヘッドフォン市場にも大きな成長をもたらしている。ヘッドフォン世界出荷台数の2012年成長率は20%、2012年～2016年にかけては毎年7%の伸びが見込まれている。



ヘッドフォン世界出荷台数推移（100万台）  
上から...  
インイヤー型  
オンイヤー型  
オーバーイヤー型

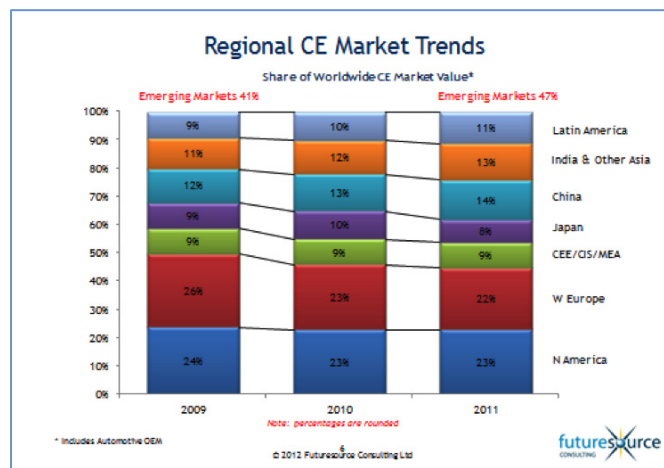
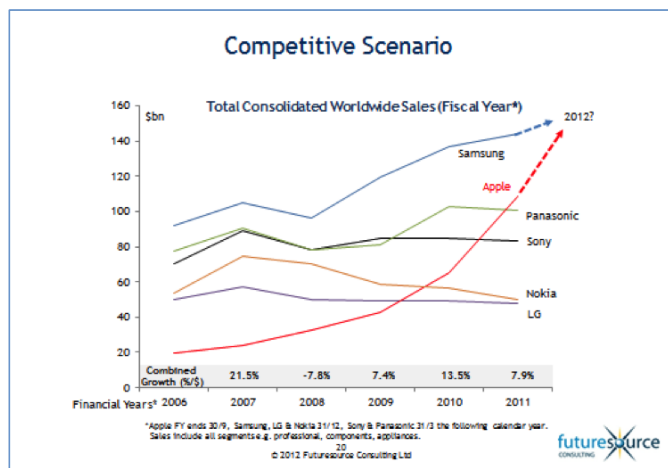
ゲーム機分野では、モバイルアプリケーションが携帯ゲーム専用機市場に損失をもたらしており、タブレットPCとの競合もあって市場規模が縮小している。長期的課題としては、インターネットテレビでのゲーム普及への対応があげられる。

今後も続くAppleのサクセスストーリー

現在テレビと携帯電話の両分野で首位に立っているSamsungをAppleが急追している。2012年Appleの対前年成長率は30%強の見込みで、総売上高でSamsungに追いつくことはほぼ確実である。

Appleは、iPhoneとiPadの売上げで、世界家電総出荷額でのメーカーシェアを、2007年の12%から2011年には20%に伸ばした。更に目を見張るのは、家電市場総利益の約70%を占めている事実である。Samsungの利益シェアは20%。

引き続き日本メーカーは、円高、蚕食される市場シェア、2011年の国内テレビ市場急落による打撃などにより、生産の停止や合理化、外部調達、生産規模縮小を余儀なくされている。



### 世界連結売上高メーカーシェア推移

(\*会計年度は各社異なる)

単位：10億 US ドル

2011 年上から...

Samsung • Apple • Panasonic • Sony • Nokia • LG

合算成長率 (ドル換算 %)

\*会計年度：

Apple：9月30日

Samsung • LG • Nokia：12月31日

Sony • Panasonic：3月31日

売上高は全事業セグメント計 (プロフェッショナル・コンポーネント・アプライアンス等)

### 成長を牽引する新興国市場

世界家電需要において新興国市場の占める割合は、2009年の41%から2011年には47%に上昇している。

世界経済を牽引する勢いのある新興国市場ではあるが、特に西欧・北米といった成熟市場の景気に依存している中国などの経済不安は拭えず、今後成長が低迷する可能性も秘めている。

とは言っても、新興国市場の成長は今後も続き、西側諸国の需要減を相殺すると見込まれており、ここでも最大の成長は、スマートフォンやタブレット PC といった多機能モバイルデバイスであろう。

世界需要での北米市場シェアは23%で安定している。米国市場では、タブレット PC、特に iPad の成長が顕著である。

西欧の世界需要シェアは、2009年の26%から2011年には22%に低下した。この要因は、不景気と市場の飽和化にある。

### 世界家電市場売上高地域シェア

新興国市場 2009年：41% 2011年 47%

上から...

ラテンアメリカ

インド及びその他アジア諸国

中国

日本

中東欧(CEE)/独立国家共同体(CIS)/中東及びアフリカ(MEA)

西欧

北米

注) % = 四捨五入, \*車載 OEM 含む

### 今後の展望

Futuresource Consulting は、2012 年世界家電市場成長率を 4%、2012 年～2016 年の年平均成長率を 1.7%と予測している。新興国に支えられたテレビ市場の回復やスマートフォンとタブレット PC 市場の成長は見られるものの、スマートフォンによって商品価値を失う専用デバイスの需要減が足を引っ張る結果となろう。



**Futuresource Consulting**

Simon Bryant

+44 (0)1582 500152

[simon.bryant@futuresource-hq.com](mailto:simon.bryant@futuresource-hq.com)

(日本語)

Yumi Dew

+44 (0)1582 500120

[yumi.dew@futuresource-hq.com](mailto:yumi.dew@futuresource-hq.com)

[www.futuresource-consulting.com](http://www.futuresource-consulting.com)